

本大会編



HAND BALL

いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

2019年9月28日(土) ▶ 10月8日(火)

総合開会式

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の総合開会式が、9月28日ひたちなか市の笠松運動公園陸上競技場で行われました。茨城県での開催は1974年以来45年ぶりとなります。天候にも恵まれ、選手や出演者、観客ら約2万6100人が一体となり、会場は感動に包まれました。



選手団を激励される天皇后両陛下



選手宣誓はハンドボール少年男子の後藤駿介選手（左）とスポーツクライミングの野口啓代選手（右）



県民歓迎イベント



入場する茨城県選手団



入場する各県の選手団



県内の市町村から集められた炬火を引き継ぐランナーたち



炬火台で赤々と燃える炬火

ハンドボール競技会開始式

いきいき茨城ゆめ国体ハンドボール競技会の開始式が、令和元年10月2日に常総市地域交流センターで開催されました。参加70チームの選手・役員などが出席し行われ、守谷市・常総市・坂東市を代表して、守谷市・常総市・坂東市実行委員会会長の神達岳志常総市長が歓迎のことばを述べました。その後、力強い選手宣誓が行われ、会場から大きな拍手が送られました。



茨城県少年男子主将後藤駿介選手・少年女子主将竹村ひなた選手による選手宣誓



3市中学校吹奏楽部によるマーチング



3市小学生によるいきいきゆめダンス2019



開始式会場の常総市地域交流センター



ようこそ守谷市・常総市・坂東市へ



大会会長杯返還



神達岳志実行委員会会長の歓迎のことば



茨城国体イメージソング「そして未来へ」を熱唱する磯山純氏

水海道総合体育館

日程 令和元年10月3日（木）～7日（月）

種別 少年男子・少年女子



中央ディフェンスを突破する染谷優斗選手（3位決定戦 茨城県対山口県）

水海道総合体育館では、10月3日から7日までの5日間にわたり白熱した戦いが繰り広げられました。茨城県勢の少年男子チームは、地元大応援団の声援を力に山口県との3位決定戦を制し、3位入賞を果たしました。香川県対大阪府の決勝戦は、27対26で香川県が勝利しました。

少年女子の福岡県対東京都の決勝戦は、第2延長までもつれこみ大接戦の末に福岡県が勝利し、少年男子優勝の香川県とともに春の選抜大会・インターハイ・国体の3冠を達成しました。

競技結果

【少年男子】

- 第1位 香川県
- 第2位 大阪府
- 第3位 茨城県
- 第4位 山口県

【少年女子】

- 第1位 福岡県
- 第2位 東京都
- 第3位 大分県
- 第4位 三重県



果敢にゴールを狙う後藤駿介選手



ボールを競り合う田口裕貴選手



ゴールキーパーとマッチアップする布田航選手



勝利のガッツポーズ！！



会場に鳴り響く地元大応援団の声援



選手とハイタッチをかわす滝川一徳監督



3位入賞に笑顔あふれる茨城県選手団



水海道一高済美応援団によるハーフタイムショー



スマイルキッズによるいきいきゆめダンス2019



神達岳志会長よりメダルを授与される馬場達也選手



少年男子優勝 香川県選手団



豪快なロングシュートを放つ福岡県長谷川真子選手



少年女子優勝 福岡県選手団



喜びを分かち合う選手たち



7mスロー 東京都伊藤結衣選手

坂東市総合体育館

日程 令和元年10月3日(木)～7日(月)

種別 成年男子



豪快なシュートを放つ信太弘樹選手(準決勝 茨城県対宮城県)

坂東市総合体育館では、10月3日から7日までの会期中、成年男子の迫力ある試合が行われ、スピードとパワーのぶつかり合いは、会場全体を魅了しました。

茨城県チームは、2回戦で前回準優勝の愛知県との激戦を制すと、続く準決勝は前回3位の宮城県に2点差で逃げ切り決勝に駒を進めました。

決勝戦では、大会3連覇を狙う埼玉県が勝利し栄冠を掴みました。

競技結果

【成年男子】

- 第1位 埼玉県
- 第2位 茨城県
- 第3位 宮城県
- 第4位 佐賀県



ファインセーブを連発する木村昌丈選手



貴重な得点に絡む小室大地選手



笑顔で盛り上げた元木博紀選手



チーム一丸となりゴールラッシュで会場を沸かせた茨城県成年男子チームの選手たち(決勝戦 茨城県対埼玉県)
(左から6千葉颯人選手・3 瀧川潤選手・7 森永浩壽選手)



茨城県チームの鉄壁のディフェンス



チームの得点に沸く茨城県チーム



勝利を称えあう茨城県成年男子チーム



マスコットキャラクターとボランティア
(3B 体操) のいきいきゆめダンス 2019



坂東市商工会華組とちびっこソムリエの
ハーフタイムショー



ハーフタイムショー 将門くんに7mスローで勝負！
坂東少年少女ハンドボールクラブの代表選手



会場全体を盛り上げる猿島幼稚園の
いきいきゆめダンス 2019



全国各地のチームに声援を送る学校応援



熱戦をネギバルーンで応援する観客



坂東市 木村敏文市長よりメダルを受ける松信亮平選手



決勝戦を戦った埼玉県・茨城県の両チーム

常総運動公園総合体育館

日程 令和元年10月3日（木）～6日（日）

種別 成年女子



ゴールを狙う相澤菜月選手（2回戦 茨城県対鹿児島県）

競技結果

【成年女子】

- 第1位 石川県
- 第2位 茨城県
- 第3位 広島県
- 第4位 熊本県

守谷市では、10月3日から6日までの4日間、常総運動公園総合体育館で開催されました。茨城県勢の成年女子チームは、鹿児島県、広島県の実業団チームを連破し、11年ぶりに決勝戦まで進出。大会6連覇中の石川県を相手に大健闘しました。



サイドからシュートを放つ平野宗香選手



豪快なシュートを放つグレイクレアフランス選手



ゴールを守る宝田希緒選手



選手にアドバイスする山田永子監督



来場者を出迎えるもりやもり・いばラッキー



声援を送る守谷高校生



茨城県勢が活躍し、歓喜に沸く観客席



試合後、おもてなしの蕎麦を食べる選手たち



いきいきゆめダンス 2019 を披露する
土塔中央保育所の児童たち



決勝のハーフタイムショーに7mスロー
コンテストを開催



賞状を受け取る中村千穂選手



守谷市 松丸修久市長より記念品（目録）を受け取る藤亜希子選手



表彰式後、笑顔あふれる茨城県選手団



優勝した石川県選手団

県立水海道第二高等学校体育館

日程 令和元年10月3日(木)～5日(土)

種別 少年男子・少年女子



風見はる選手(準々決勝 茨城県対大分県)

県立水海道第二高等学校体育館では、10月3日から5日までの3日間に渡り競技が行われました。茨城県少年女子チームは、愛知県と2回戦を戦い、激闘を制し1点差で勝利しました。ベスト4をかけて臨んだ大分県との準々決勝は、惜しくも敗れはしたものの、地元大声援の中で最後まで粘り強く戦い抜き、5位入賞を果たしました。

競技結果

【少年女子】

- 第1位 福岡県
- 第2位 東京都
- 第3位 大分県
- 第4位 三重県
- 第5位 茨城県
- 第5位 香川県
- 第5位 千葉県
- 第5位 神奈川県



大健闘した茨城県少年女子選手団



5位表彰を受ける竹村ひなた選手



カットインを狙う加藤晴桜選手



サイドから飛び込む竹村ひなた選手



チームメイトを鼓舞する
ゴールキーパー稲葉沙海選手



飯田健一監督の話に耳を傾ける選手たち



仲間へパワーを！！



勝利後のスマイル



千姫ちゃまと7mスロー対決



強敵千姫ちゃまをかわしゴールなるか・・・



千姫ちゃまと千姫様は仲良し♪



7mスロー 上遠野空選手



勝利の喜びをみんなと分かち合う



鉄壁ディフェンス

県立岩井高等学校体育館

日程 令和元年10月3日（木）～4日（金）

種別 成年男子・成年女子



成年女子優勝を果たし、見事に7連覇を達成した石川県（1回戦突破した石川県の集合写真）

県立岩井高等学校体育館では、10月3日、4日の2日間に渡り、成年男子及び成年女子ハンドボール競技会の試合が行われました。成年女子の1回戦にて石川県は千葉県に快勝し、そのまま勢いに乗り見事優勝して国体7連覇を果たしました。

競技結果

【成年男子】

- 第1位 埼玉県
- 第2位 茨城県
- 第3位 宮城県
- 第4位 佐賀県

【成年女子】

- 第1位 石川県
- 第2位 茨城県
- 第3位 広島県
- 第4位 熊本県

■成年女子 福島県×香川県



ガッツポーズで喜ぶ
柴崎加奈選手



華麗なジャンプシュートを放つ
國方沙耶選手

■成年女子 石川県×千葉県



ゴールキーパーとマッチ
アップする佐原奈生子選手



タイムアウトにて監督に指示を
受ける千葉県

■成年女子 大阪府×熊本県



素早いパス回しで
オフェンスを展開する大阪府



監督のアドバイスを受ける熊本県

■成年女子 東京都×三重県



高い打点からシュートを放つ
大松澤彩夏選手



後半に向けて円陣を組む
三重県

■成年男子 京都府×広島県



サイドからシュートを狙う
石田知輝選手



カットインを狙う中浦成崇選手

■成年男子 福岡県×愛媛県



素早い展開のオフェンスから
シュートを放つ吉田幸平選手



堅いディフェンスで攻撃をかわす
愛媛県

■成年男子 岩手県×千葉県



豪快なジャンプシュートを打つ
藤原竜郎選手



ディフェンスの上から
シュートを放つ加瀬駿也選手

■成年男子 富山県×和歌山県



中田凌河選手のジャンプシュート



鉄壁の守備で得点を阻む
和歌山県



応援グッズを手に声援を送る来場者



応援グッズ「ねぎスティックバルーン」を手にして喜ぶ来場者



会場内に飾られた手作り応援のぼり旗と花いっぱい運動のプランター



選手の皆さんお疲れ様でした！

大会を支えたスタッフたち

守谷市・常総市・坂東市では、全国から訪れる選手や監督などを温かいおもてなしでお迎えするとともに、大会の円滑な運営を図るため、平成29年10月より大会運営ボランティアを募集しました。ボランティアの方々には、受付案内、おもてなしコーナー、総合案内所、環境美化、広報記録、応援観戦といった様々な役割を担当していただきました。また、競技を円滑に運営するため、県内の高校生に、競技補助員として協力いただきました。

このようなボランティアの方々が競技会運営の主役となり、さまざまな場面で活躍していただき、大会を成功に導いた立役者となりました。

競技会補助員



入口でお出迎え



観戦のご案内



資料を配付



ゴミ箱を準備



会場をきれいに



お花への水やり



おもてなしのドリンクを提供中



選手の皆さんを笑顔でおもてなし



弁当の引換え



着ぐるみ出演



総合案内所でご案内

競技補助員



ボランティア活動開始



試合中、素早くコートを拭きます



放送席で場内アナウンス



表彰式をサポート



打合せする競技補助員



着ぐるみを誘導



会場の後片付け



皆さんお疲れ様でした！

競技役員



競技補助員へ説明する競技役員



試合前のゴール確認



試合に向けて準備中



試合前のミーティング



オフィシャル席



ミーティング中



試合の戦評を作成中



ハーフタイムショーの準備中

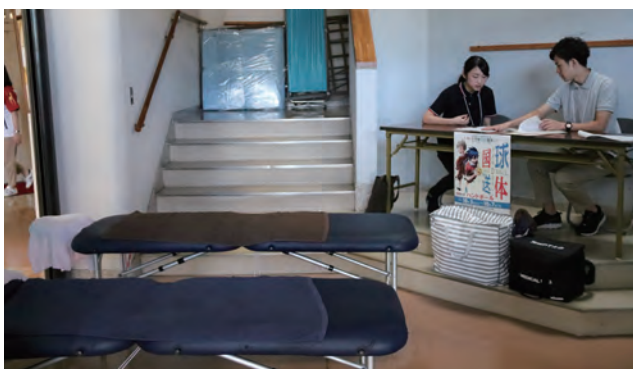
医療救護



コートの外で待機する医療救護係



コンディショニングブースで手当てる選手



アスレチックトレーナーによるコンディショニングブース



打合せする医療救護スタッフ

警備



会場入口で警備



競技会係員



試合結果をトーナメント表へ



会場を案内



お客様を誘導

歓迎装飾

国体開催に向けて機運の醸成をはかるため、市内各所に PR 用の看板や横断幕を設置し、様々な啓発活動により市民の関心も徐々に高まっていきました。開催が近づいてきた頃には、たくさんの市民が書き込んだ応援メッセージ、手作りの装飾品が各競技会場や商店街、駅、沿道などに飾られ、全国から訪れた方々を温かくお迎えしました。



市民の応援メッセージ



市内小学校の応援メッセージ



ひょうたんいばラッキー



手作り歓迎のぼり旗



壁面シール



フラワータワー



歓迎アーチ





歓迎塔装飾



階段装飾

横断幕



グランシャルシート



歓迎のぼり旗

かし・いばラッキー

ペナント (商店街)

おもてなし・売店

会場には無料で料理やドリンクをふるまうおもてなしコーナーや売店を設置し、全国から訪れる選手・監督、大会関係者及び一般観覧者の皆さまを、守谷市・常総市・坂東市らしいおもてなしの心で温かくお迎えしました。



協力団体の皆さまが笑顔いっぱいでおもてなし料理をふるまってくださいました。



会場

選手・監督、競技役員など大会関係者は、バスの計画輸送，一般観覧者の方々は駅や臨時駐車場から競技会場までシャトルバスを運行し，円滑・安全に各会場へご案内しました。

また，市内小中学校，高校に協力いただき，練習会場を設置しました。

【競技会場】

守谷市 常総運動公園総合体育館

常総市 水海道総合体育館

県立水海道第二高等学校体育館

坂東市 坂東市総合体育館

県立岩井高等学校体育館

常総運動公園総合体育館



水海道総合体育館



坂東市総合体育館



県立水海道第二高等学校体育館



県立岩井高等学校体育館



【練習会場】

守谷市

県立守谷高等学校体育館

守谷市立御所ヶ丘中学校体育館

守谷市立けやき台中学校体育館

常総市

県立水海道第一高等学校体育館

常総市立水海道中学校体育館

常総市立水海道西中学校体育館

常総市立鬼怒中学校体育館

坂東市

坂東市立岩井中学校体育館

坂東市立南中学校体育館

坂東市立岩井第一小学校体育館

坂東市立岩井第二小学校体育館

県立守谷高等学校体育館



常総市立鬼怒中学校



坂東市立岩井第二小学校体育館



応援観戦

連日、各会場では熱戦が繰り広げられ、たくさんの方が応援にかけつけました。

市内の小中学校に参加していただいた学校観戦では、地元のみならずすべての選手にエールを送るなど、応援席は常に熱気に溢れていました。



応援に向かう児童たち



自作の応援グッズで会場へ



湧き上がる声援



選手を応援する児童たち



応援グッズを配布する競技会補助員



会場を盛り上げる競技会補助員



お成り

10月5日、高円宮承子女王殿下が水海道総合体育館、守谷市役所を御訪問されました。

水海道総合体育館



水海道総合体育館に御到着された承子女王殿下



ハンドボール競技を御覧になる承子女王殿下



承子女王殿下を御案内

守谷市役所



承子女王殿下をお迎えするスポーツ少年団
守谷クラブの児童たち



守谷市役所で承子女王殿下をお出迎え

総合表彰式

令和元年10月7日、水海道総合体育館で少年女子決勝戦後、男女総合成績第1位の茨城県に大会会長トロフィーが授与され、最後に競技会の終了が宣言されました。茨城県は男女総合成績、女子総合成績ともに第1位となり、天皇杯皇后杯獲得に大きく貢献しました。



茨城県 男女総合成績第1位、女子総合成績第1位



男女総合成績第1位の賞状授与



大会会長トロフィーの授与



神達岳志実行委員会会長より歓送のことば



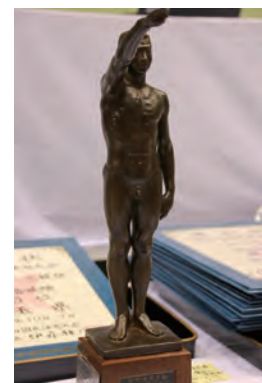
総合表彰式



終了宣言する茨城県ハンドボール協会古矢勲理事長



胴上げされる茨城県少年男子 滝川一徳監督



大会会長トロフィー

総合閉会式

いきいき茨城ゆめ国体の総合閉会式は 10 月 8 日、ひたちなか市の笠松運動公園陸上競技場で行われ、各都道府県の選手団・大会関係者ら計 1 万 3302 人が参加しました。

茨城県勢は 31 種目で優勝し、冬季大会の成績と合わせて男女総合得点 2,569 点、女子総合得点 1,331 点を獲得し、男女総合（天皇杯）・女子総合（皇后杯）ともに第 1 位の成績を収めました。眞子内親王殿下は、熱戦を繰り広げた選手たちに惜しめない拍手を送り、健闘をたたえられました。退場する選手たちを茨城県選手団や応援団、観覧者の方々が見送り、会期前を含め計 21 日間にわたる国内最高峰のスポーツの祭典が幕を閉じました。



茨城県選手団入場



観客の声援に笑顔で応え入場する選手たち



茨城県選手団入場



オープニングプログラム
筑波山ガマ口上保存会



茨城舞祭ネットワークによるダンス





フライングディスク茨城県選手によるデモンストレーション



車いすバスケットボール茨城県選手によるデモンストレーション



天皇杯を受け取る関 直也選手



皇后杯を受け取る安島 千晶選手



三反園鹿児島県知事へ国体旗を引き継ぐ大井川茨城県知事



各都道府県選手団を見送る茨城県選手団



2020 年開催「燃ゆる感動かごしま国体」



選手団を温かく見送る観客席



炬火分火・納火